

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-522534 (P2004-522534A)

【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報 2004-029

【出願番号】特願 2002-567096 (P2002-567096)

【国際特許分類第 7 版】

A 4 4 B 18/00

【F I】

A 4 4 B 18/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 21 日 (2005.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリマー基材と、  
前記基材の第 1 の側に配置された複数のフックと、  
前記基材の第 2 の側に配置された複数のループと、を含むファスナーであって、  
前記ファスナーが縦軸を有し、前記フックが形成されるとき、またはされた後に前記基材が前記縦軸に沿って単軸配向されていることを特徴とするファスナー。

【請求項 2】

前記ファスナーが、等式  $r_{w/a} = \text{重量} / \text{面積}$  により定義される比率  $r_{w/a}$  を有し、  
前記ファスナーが束破断強度  $s_{bb}$  を有し、比率  $s_{bb} / r_{w/a}$  が  $0.020 \text{ (km/s)}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

【請求項 3】

前記ファスナーが、等式  $r_{w/a} = \text{重量} / \text{面積}$  により定義される比率  $r_{w/a}$  を有し、  
前記ファスナーが規格化引張りモジュラス  $m_t$  を有し、比率  $m_t / r_{w/a}$  が  $0.57 \text{ (km/s)}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

【請求項 4】

前記ファスナーが剛性  $s$  を有し、比率  $s_{bb} / s$  が 80 より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

【請求項 5】

前記ファスナーが引張り強度  $s_t$  を有し、比率  $r_{s_t/s} = s_t / s$  が 102 より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

【請求項 6】

前記ファスナーが 3,893 より大きい比率  $r_{m_t/s} = m_t / s$  を有する、請求項 1 に記載のファスナー。

【請求項 7】

前記フックは、前記基材のリブの別個の部分と分離することにより形成されている、請求項 1 に記載のファスナー。

【請求項 8】

比率  $r_{m_t/s} = m_t / t$  が  $0.15 \text{ GN/m}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

## 【請求項 9】

前記ファスナーが厚さ  $t$  を有し、比率  $r (s_{bb} / t)$  が  $7.2 \text{ MN} / \text{m}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

## 【請求項 10】

比率  $r (s_t / r_{wa})$  が  $0.026 (\text{km} / \text{s})^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

## 【請求項 11】

比率  $s_t / t$  が  $8.8 \text{ MN} / \text{m}^2$  より大きい、請求項 1 に記載のファスナー。

## 【請求項 12】

$s_{bb}$  が少なくとも約  $8,760 \text{ N} / \text{m}$  であり、

$r_{wa}$  が約  $0.0432 \text{ g} / \text{cm}^2$  未満であり、

$m_t$  が少なくとも約  $0.16 \text{ MN} / \text{m}$  であり、

$s_t$  が少なくとも約  $8,230 \text{ N} / \text{m}$  であり、

$s$  は、多くても  $109 \text{ N} / \text{m}$  である、請求項 1 に記載のファスナー。